

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	一般教養A1（番組カテゴリー）	
科目基礎情報					
開設学科	放送芸術科	コース名	番組カテゴリー	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	町 明香		実務経験の有無・職種	有・放送業務	
学習目的					
近年の放送業界は 媒体が広がり、 テレビ番組 CM WEB動画 デジタルサイネージと 目的も用途も変化してきております。放送業界人として誰にでも必要なビジネスマナー、放送業界常識を身に付けます。 即戦力にある人材を育成するために 現在【現場】で起こっている様々なことを講義を通じ学び、業界の通説を理解させることが目的です。					
到達目標					
学生に、放送業界には、どんな職種があるか、職種の役割、職種同志の関わり合いを理解させ、自分の適性や興味・関心と結びつけて理解させる。また 映像制作の基礎を教えることにより、業界人マナーや業界常識を身に付け、学生たちに将来のビジョンを具体化させ、社会にでてから活動するために必要な能力を習得、また何を学んでいくことが重要かを認識させ、2年次に進級する際に将来の展望を明確にさせることが目標です。					
教育方法等					
授業概要	一般教養をおりまぜながらグループワーク・個人ワークと講義を行い展開する。 特にプレゼン能力を養うために【発表】の場を設け 時には生徒同士に評価させ意見を出し合うデスカッションも行う。 また現在、制作・技術が現場で使用している資料の提示、場合によっては作成なども行い映像制作するうえでの一連の流れを理解させる。				
	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。業界ルールの観点から、実際の現場の緊張感を持って授業に取り組んで頂きたい。基本は1分でも入室が遅れたものは授業参加を認めない。詳しくは、最初の授業で説明予定。社会に出た際、実践で最初のライバルとなる大学卒業生たちと、対等に意見交換するためには学生自身の努力が不可欠であり、そのために厳しく指導することを心がける。 また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	現場の状況		授業への心構え 前期授業内容の説明 テレビ業界の今と業界ルール（映像制作）を学ぶ		
2回	テレビ 映像制作の職種と業務内容		制作スタッフと技術スタッフ 職種と業務内容を知る		
3回	【業界用語】【業界禁止事項】		業界の用語について 著作権 肖像権など 制作にまつわる許可について学ぶ		
4回	【ドラマの現場】		フジテレビ深夜のドラマや 再現ドラマなどを学ぶ		
5回	【情報番組の現場】		夕方のニュース番組 天気予報などを学ぶ		
6回	【バラエティーの現場】		クイズ番組や心霊番組 番組宣伝リサーチなどについて学ぶ		
7回	【インターネット動画】		Facebook YouTube インスタなどを学ぶ		
8回	【スポーツの現場】		スポーツ事の中継方法を学ぶ（ サッカー テニス ゴルフ 野球など）		
9回	【CMの現場】		RIZAPやアートネイチャー また食品の撮影方法を学ぶ		
10回	学生の知りたい世界(1)		事前にアンケートをとり 学生が知りたい世界を紹介		
11回	学生の知りたい世界(2)		事前にアンケートをとり 学生が知りたい世界を紹介		
12回	業界関連会社について		関連会社の説明（タレント事務所 クライアント 代理店 地方局） について学ぶ		
13回	映像制作のKPI 【視聴率 コンバージョン】		面白い番組をつくるために何が必要かを学ぶ		
14回	試験対策 前期のまとめ		前半の授業復習		
15回	試験対策 前期のまとめ		後半の授業復習		